

本時のねらい

- ・身近な語句の量を増やし、文章の中にかくれている語句を見つけることで文法事項の習得をめざす。
- ・友だちと共有したり、教員とのコミュニケーションを図ったりすることで、自発的な発言を促す。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・互いの課題を共有するなかで、読む機会を設け交流することにより、語彙を豊かにする。
- ・自分の考えをロイロノートに提出し、自分の課題を共有することで主体的に取り組む。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット
- ・電子黒板
- ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のさわやかチェックをする。 ・日にちの確認と自分の朝の習慣を見直す。 ・個別学習をし、取り組んだプリントを写真に撮り、ロイロノートに送る。 ・画面共有で映し出されたことばプリントを一人ずつ発表したり、言葉の意味について発言したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばプリントをやり終えたら、写真に撮り提出 BOX に送る。 ・見やすい写真が撮れるように声掛ける。 ・電子黒板で共有の時、説明しているところが分かるように赤ペン記す。
展開 (30 分)	<p>ことばを見つけよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、本時の活動について見直しをもつ。 ・ことばを見つけて文をつくる。 ・ロイロノートで送られた文の () に何が入るか隠れている言葉を探して書き込む。 <p>例：パンダの中には、(パン) がある。 かばんの中には、(かば) がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたものを提出 BOX に送る。 ・電子黒板で共有する。 ・つくった文をみんなで声に出してたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に前時の内容を映し復習する。 ・文字だけの情報では取り組みにくい児童への配慮としてイラストを入れる。 ・『ある』『いる』の文字の色を変えることで、視覚的にもわかりやすくしておく。 ・問題文を 1 ページに一文ずつ表すことやイラストを用いることで文の内容理解を促す。
まとめ (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの振り返りシートに本時の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の学びを振り返る。 ・書字に困難を抱える児童には文字入力の方法などを工夫する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 : 個別課題をロイロノートで共有している場面



写真 2 : 前時の確認をしているところ



写真 3 : 振り返りシートの発表をしているところ

児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノートを日常的に使用しているので、自分の課題を写真に撮り送るという作業はスムーズにできていた。
- ・言葉を見つける作業では、イラストをヒントに意欲的に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・『いる』『ある』の部分の色を変え、選択する形にすることで、文をつくる際のルールを意識できた様子だった。
- ・振り返りシートを、自分にあてはまる言葉を選択していくと文になるように型を示したことで、振り返りの文を完成し、発表することができた。